

Japan Evangelical Theological Society

日本福音主義神学会**J·E·T·S·NEWS Vol.28**

発行所／270-1347 千葉県印西市内野3丁目301-5-1 東京基督神学校内

「靈性」—全国研究会議に期待して—

全国理事長 工藤 弘雄

ポスト・モダンと云われる靈的に飢え乾いた現代社会において、人間本来の姿を取り戻そうと、人間の靈性の回復が求められている。その「靈性」の広がりは多岐に及んでつかみ所がない。そうした中で福音主義に立つキリスト教界においても、神学における知識主義や伝道・牧会における効率主義へのアンティ・テーゼのようにしてキリスト者の靈性が強調されてきた。しかし、こうした時代背景はともかく、本来、神学と靈性は一つのコインの両面であり、知的神学の探究と靈性における礼拝や宣教の実践に緊張関係があろうはずがない。

英国のマンチェスター大学と提携するナザレン神学大学大学院には、クリスチャン・ホーリネスのプログラムの一つに Christian Spirituality のセミナーがある。靈性の社会的、文化的現象から、教会的、個人的な靈性の知的、情的、意志的、行動的角度からの靈性の分析、探求がなされている。さらに観想的 (contemplative) 精神から社会正義的 (social justice) 精神に至る諸靈性の特徴、また福音主義の種々の靈的伝統に従って形成される、祈りや学びなどの靈性の「内的表現」、キリスト者生活の簡素、聖別、宣教、奉仕と云った靈性の「外的表現」、礼拝や聖礼典、祈祷などの靈性の「共同的表現」なども考察されている。

今秋、11月28日から30日にかけて開かれる第12回全国研究会議では、聖書神学、組織神学、歴史神学、実践神学のそれぞれの視点から

キリスト者の靈性が分析、考察される。福音主義の視点から、聖書に根拠し、靈性をどこまで定義づけ、考察、探求できるか、期待されるところである。福音主義神学会ならではのさまざまな神学的、靈的伝統に立つ発題者、応答者が既に準備作業に入っておられる。会場も交通至便な名古屋YWCA、宿泊も参加者の自由選択、会議の合間にはフリートークや息抜きのひとときもあり、プログラムには緊張、集中、リラックスが織りなされていて楽しみである。

この度の全国研究会議を前に、具体的な期待を上げるなら、第1に、キリスト者の靈性を研究課題に上げながら、靈性の知的探求のみに終始する矛盾をきたすことがないようにとのことである。聖書的、神学的根拠を求めながらも、聖書に学び、神に聞く、換言すれば、臨在の神が、神のみ言葉が主格的に語りかけられる研究会議でありたいと願われる。第2のこととは、一概にポストと言えるか否かは別として、科学の絶対性への懷疑、反権威主義、相対主義、情報化社会による水平化、アイデンティティ危機と云ったポスト・モダンと云われる現代精神の特徴をふまえ、健全な聖書的靈性を前面に打ち出す宣教の可能性を探る機会ともさせていただきたい。第3に、福音主義神学会ならではの靈的伝統の幅広さを互いに建徳的に生かし、それぞれの靈性の理解を深め、ゆがみを是正し、福音主義に立つ豊かな靈性が確認、確信される場でありますと願わされている。

◆ 各地区部会報告 ◆

東部部会報告

1. 理事会の構成

◎役員理事 理事長：藤本満
書記：倉沢正則
会計：渡辺聰

◎学会誌：木内伸嘉

◎部門理事 聖書学：内田和彦、遠藤嘉信
組織神学：大瀧信也
歴史神学：横山武
実践神学：藤原導夫

2. 研究会・講演会

①春期公開講座：2004年4月27日

スタンレー・グレンツ氏「キリスト者の靈性」
内田和彦氏 レスpons
藤本満氏 コーディネーター

②期研究会：2004年11月8日

藤原淳賀氏「ヨーダーとハーワーワースによる神学的
チャレンジ：日本というコンテキスト
において」

渡辺聰氏「ポストモダン社会に対するキリスト教
の応答」

③部門活動

聖書学部門：2005年1月24日

研究発表 原口貞吉氏「1世紀におけるローマ属州ア

シア・ガラテア・ピティニアの境
界と経路：使徒の働き（16:1～
10）に現れたパウロの宣教経
路に関する地理的考察」

佐々木哲夫氏「士師記の戦争・平和・聖絶
に関する一考察」

3. 会員異動

〈転入〉 北秀樹（境福音教会東京チャペル：西部部会より）

〈入会〉 渡辺聰（渋谷バプテスト教会、会計担当理事）、

藤原淳賀（聖学院大学、組織神学）、相川忠義
(御茶の水キリストの教会、歴史神学)、水草修
治（同盟小海キリスト教会、組織神学）

〈退会〉 服部嘉明、荒井隆志

中部部会報告

1. 理事会構成

◎役員理事 理事長：安村仁志
書記：石川正
会計：佐々木保雄

◎学会誌：松浦剛、檀原久由

◎中部部会会報：檀原久由、相馬伸郎

2. 研究会・講演会

公開講演会 2004年5月17日

内田和彦氏 「新改訳聖書・改訂第三版をめぐって
—新約聖書の改定個所を中心に—」

秋季研究発表会 2004年11月15日

檀原久由氏 「児童福祉論の関連からみたキリスト者像」

小林茂氏 「自己愛の歪み—教会共同体と境界性・自
己愛性人格障害をめぐる諸考察」

中部部会会報 第4号

藤本満氏 「女性教職者論」

東正明氏 「イエスの目的的対応の一考察—牧会カウ
ンセリングへの応用」

相馬伸郎氏 「日本キリスト改革派教会の創立と日本に

おける福音主義教会形成の課題」

渡辺聰夫氏 「セルフラブ(Self-Love)聖書的統合を求めて」
水上勉氏 「キリスト者の交わり」

松浦剛氏 「『新選讀美歌』から『讀美歌21』まで」

3. 会員異動

入会 檀原久由（日本ホーリネス教団 安城キリスト
教会）

退会 西堀則男（日本基督教改革派 関キリスト教会）

転出 赤坂泉（東部へ）

西部部会報告

1. 理事会構成

◎役員理事 理事長：工藤弘雄
書記：正木牧人
会計：鷹取裕成

◎学会誌：市川康則

◎理事：牧田吉和、橋本昭夫、津村春英、福田充男、
瀧浦滋、安黒務、真鍋孝、大田裕作

2. 研究会・講演会

春の研究会 2004年4月26日（神戸ルーテル神学校）
研究発表 吉田崇氏「宗教改革期におけるイングラン
ドのカテキズム事情」

橋内明裕氏「アラム語タルグムに見る主の
僕の歌」

ローレンス・ヒーバート氏

「浄土真宗の葬儀について」

後登雅博氏「聖靈とキリスト—改革派信
仰に即して—」

杉山昌樹氏「洗礼の効力—カール・バル
トの所説をめぐって—」

井野葉由美氏「ヨーロッパにおける日本語
教会の現状と今後の展望」

宮村武夫氏「説教と組織神学—組織神学
に裏付けられる説教、説教に
おいて展開する組織神学を目
指して—」

講演：信岡章人氏 レスpons：牧田吉和氏

秋の研究会 2004年11月29日（神戸改革派神学校）
部門別研究発表

福野正和氏「礼拝者が形成する教会」

井草晋一氏「戦いの中に平和を求めて—
キリストン武将内藤如庵の信
仰と講和への取り組み—」

坂井純人氏「改革派契約神学の史的展開と
問題点についての一検証」

鎌野直人氏「コヘレトの世界観とHEBEL」
講演Ⅰ総論 市川康則氏「教会のリタージー・キリスト
教的靈性の社会的表現と証言
として」

講演Ⅱ各論 有木義岳氏「ルーテル教会の立場から：リ
タージーのもたらすものと今
後の展望」

瀧浦滋氏「リタージーの中心としての詩
篇と靈性」

大塚篤氏「ウェスレーの聖餐論に見る今
日の意義」

3. 会員異動

入会：飛鷹美奈子 遠藤克則 砂原律子 木谷精吾
退会：高橋誠 岡崎孝志 犬童幸二 有賀喜一 柏木
哲夫 ジェームス・ペニントン

全国理事会報告

2005年6月6日(月)午後1:00~3:30

愛知県中小企業センター会議室(7階11号室)

- 出席者確認: ●東部: 藤本満理事、藤原導夫理事
- 中部: 佐々木保雄理事、松浦剛理事
- 西部: 工藤弘雄理事長、正木牧人理事

■開会祈祷: 工藤弘雄理事長。一ペテ1:8~9

■報告事項。

1. 各部会報告と承認: 資料相互配布。●東部(藤本理事)秋期04/11/08と春期05/06/20の研究会のチラシ、来年から理事は選挙で決定する方針。●中部(佐々木理事)総会05/05/16の議事録と会計報告と予算。●西部(正木理事)理事会04/06/28、04/11/29、04/12/28、05/04/25、秋期研究会議04/11/29報告と会計報告と予算。
2. 学会誌報告: 別紙05/03/09の編集委員会議事録、学会誌会計報告をもって松浦理事より報告、承認。
3. 全国会計報告: 別紙会計報告及び予算をもって藤原理事より報告、承認。
4. JETSニュース報告: 佐々木理事
5. 全国研究会議準備会報告: 藤本満理事
本日午前に準備会がもたれた。議事録はない。以下に要約。
 - ①コーディネータ: ●11月28日(月)夜: 遠藤嘉信氏(東部) ●29日(火)朝: 渡辺聰氏(東部)、後藤吉良(中部) ●(火)夜5:00~6:15会場近くレストランで合同会食、●(火)夜6:30: 相馬伸郎氏(中部) ●30日(水)朝: 正木牧人氏(西部)。
 - ②動員: 東部30名、中部30~40名、西部30名。
 - ③宣伝: 9月末に発行されるJETSの巻頭言を工夫し参加申し込みアピール。
 - ④謝礼: 発題者5名に各2万円、応答者5名に各1万円。全国理事会にはかる。
 - ⑤予算: ●収入: 全国会計から準備金支給10万円、参加費5千円50名で25万円、神学生や部分参加者3千円が30名で9万円、計44万円。●支出: 準備費5万円、会場費15万円、レジメ5万円、上記謝礼15万円で計40万円。●5万円以内のプラス残高の場合中部に、以上なら全国委員で分配の相談をする。マイナス決算の場合会場献金等を募り、赤字を次年に残さない。
 - ⑥地元中部は非神学会員の参加可能か全国理事会にはかる。
6. 名簿作成作業進捗報告: 正木理事
 - サイズ: B5版 ●表紙: 色コート紙135kg 銀色紺字
 - 本体用紙: 書籍用紙90kg ●納期: 発注後10日 ●印刷冊数: 1000部でよいか。●裏表紙へ奥付: あり ●個人情報の取り扱いの注意を表紙裏に記載 ●費用概算: 印刷130000円 アルバイト30000円。

■審議事項

1. 全国理事役員構成と全国理事構成変更
工藤弘雄理事長変わらず。会計理事が近く藤原理事から鷹取裕成氏(西部理事)へ引き継がれる。それに伴って正木牧人書記理事は全国理事を降り、書記は当日書記を選出。全国理事会の開始時間を遅め鷹取氏の出席を得る。
2. 全国研究会議
地元中部は非神学会員も出席可能。謝礼は実施、金額とも承認。
3. 学会誌
 - ①いのちのことば社での売上金は全国会計に直接入金されるよう手続きをする。
 - ②神戸ルーテル神学校に送られるいのちのことば社か

らの返本は、同校で自由に用いる。

- ③インターネット上に内容掲載のある3年前までの学会誌は、在庫を自由な値段で処分する。3年未満の学会誌は一般1000円、神学生500円を目安に販売。
- ④広告頁や広告主を増やし、広告料を下げる方向で取り組む。新契約がなければ従来通り。
4. JETSニュース。佐々木理事。理事長巻頭言と各部会書記と全国書記の報告を7月中に送付のこと。
5. 全国会計予算と承認。藤原理事
昨年度学会誌売り上げ入金がなかったので本年度2年分計上。全国名簿作成費は名簿が完成する本年度の支出予算に入れる。全国研究会議準備委員会へ10万円支給。
6. 全国会員名簿
個人情報取り扱いに関する文言を挿入する。部数は500~700部で十分。作業担当理事も手当を支給する。
7. 次回全国理事会。
2006年6月5日(月)午後2:00~5:00 愛知県中小企業センター会議室。

■閉会祈祷: 藤本満理事。

学会誌報告

①学会誌委員

東部: 木内伸嘉、藤本 満
中部: 松浦 剛
西部: 市川康則

②35号発行報告 2004年12月に800部発行。

配布先 東部200部 中部100部 西部300部
いのちのことば社200部

③36号編集概報

特集 テーマ「祈り」
構成 旧約聖書の中からイザヤの祈り ヒゼキヤの祈り ヨナの祈り

主の祈り、ガッセマネの祈り、パウロの祈りなど10点の文章を集める

執筆予定者は中澤啓介氏、鈴木英昭氏、鍋谷克雨氏他懸賞論文を求めて審査の後掲載。発行期日は2005年12月

第12回全国研究会議・プログラム

11月28日(月)	11月29日(火)	11月30日(水)
	9:00~10:00 靈性: 旧約聖書の視点から(森 文彦)	9:00~ 靈性: 実践神学の視点から(坂本 誠) 応答: 黒川知文
	10:15~ 靈性: 新約聖書の視点から(内田和彦)	~11:15
	11:20~12:00 質疑応答	11:15~総括 コーディネーター
	12:00~ 昼食(各自)	11:45~ 説教: 安村仁志 ~12:15
3:00~受付開始	1:15~2:45 フリートーク (2分団で)	
4:00~開会礼拝 説教: 工藤弘雄		
4:40~ オリエンテーション	フリータイム	
夕食休憩 (各自)	夕食休憩 (各自)	
6:30~ 靈性: 歴史神学の視点から(渡辺陸大)	6:30~ 靈性: 組織神学の視点から(牧田吉和)	
応答: 橋本昭夫 ~8:45	応答: 水草修治 ~8:45	

日本福音主義神学会 全国会計報告
2004年度決算報告及び2005年度予算(2004/6/1~2005/5/31)

収 入				支 出			
項 目	04年度予算	04年度決算	05年度予算	項 目	04年度予算	04年度決算	05年度予算
東部分担金	450,000	450,000	450,000	学会誌出版諸費	800,000	800,000	800,000
中部分担金	70,000	70,000	70,000	理事会費	150,000	124,930	150,000
西部分担金	350,000	350,000	350,000	事務通信費	10,000	700	10,000
学会誌売上(録)	90,000	0	180,000	研究助成金	50,000	0	50,000
広告収入	150,000	200,000	150,000	J E T S 作成費	30,000	31,460	30,000
雑収入	100	60	100	全国名簿作成費	200,000	0	200,000
				出版基金へ	0	0	0
				全国研究会議費	0	0	100,000
				予 備 費	451,476	0	554,446
小 計	1,110,100	1,070,060	1,200,100	小 計	1,691,476	957,090	1,894,446
繰 越	581,376	581,376	694,346	繰 越		694,346	
合 計	1,691,476	1,651,436	1,894,446	合 計	1,691,476	1,651,436	1,894,446

出版基金会计 2004年度決算報告

収 入		支 出	
繰 越	1,208,421	繰 越	1,208,421
合 計	1,208,421	合 計	1,208,421

会計担当 藤原導夫